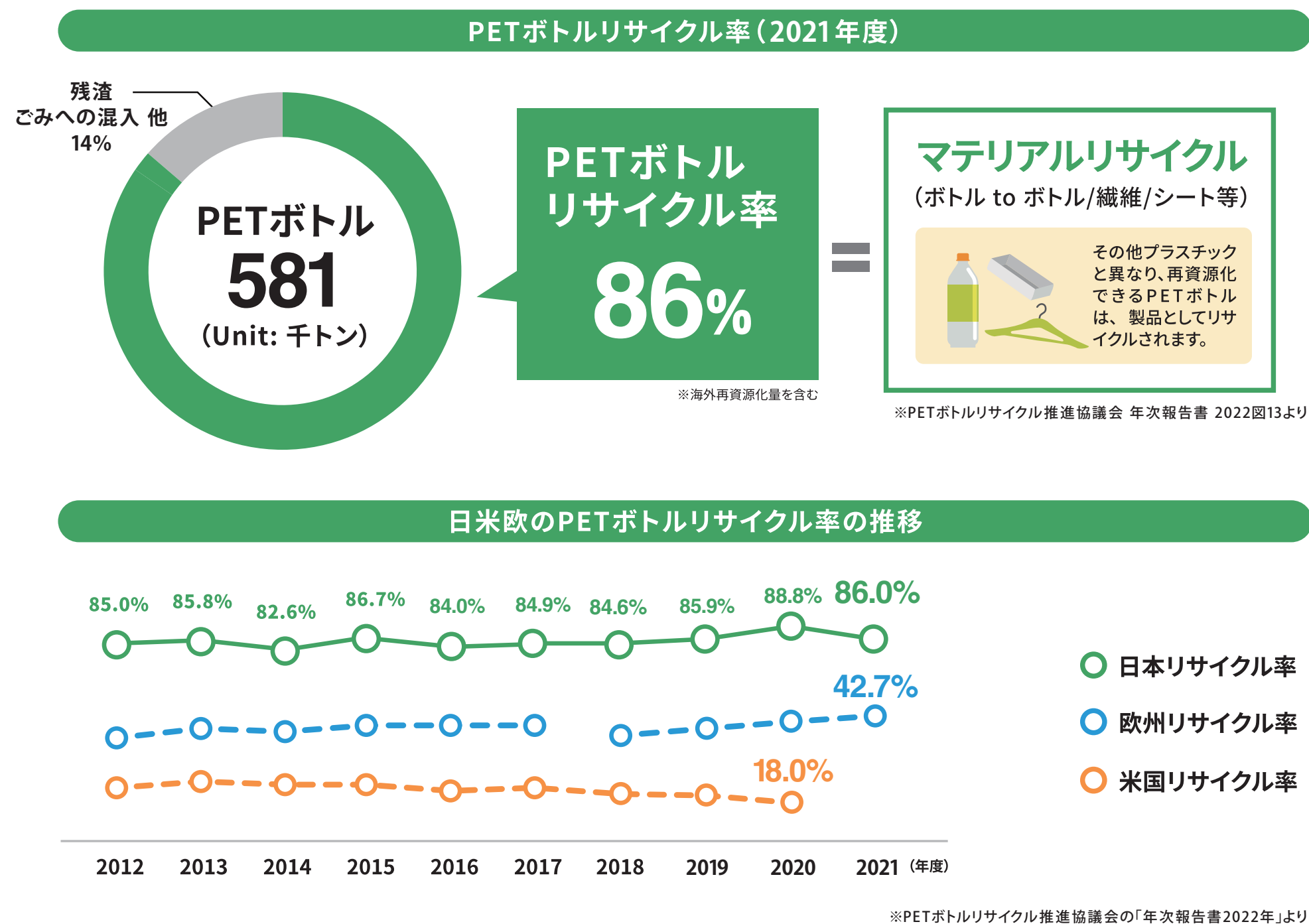




World  
Without  
Waste  
(廃棄物ゼロ社会)

# PETボトルリサイクルへの 取り組み

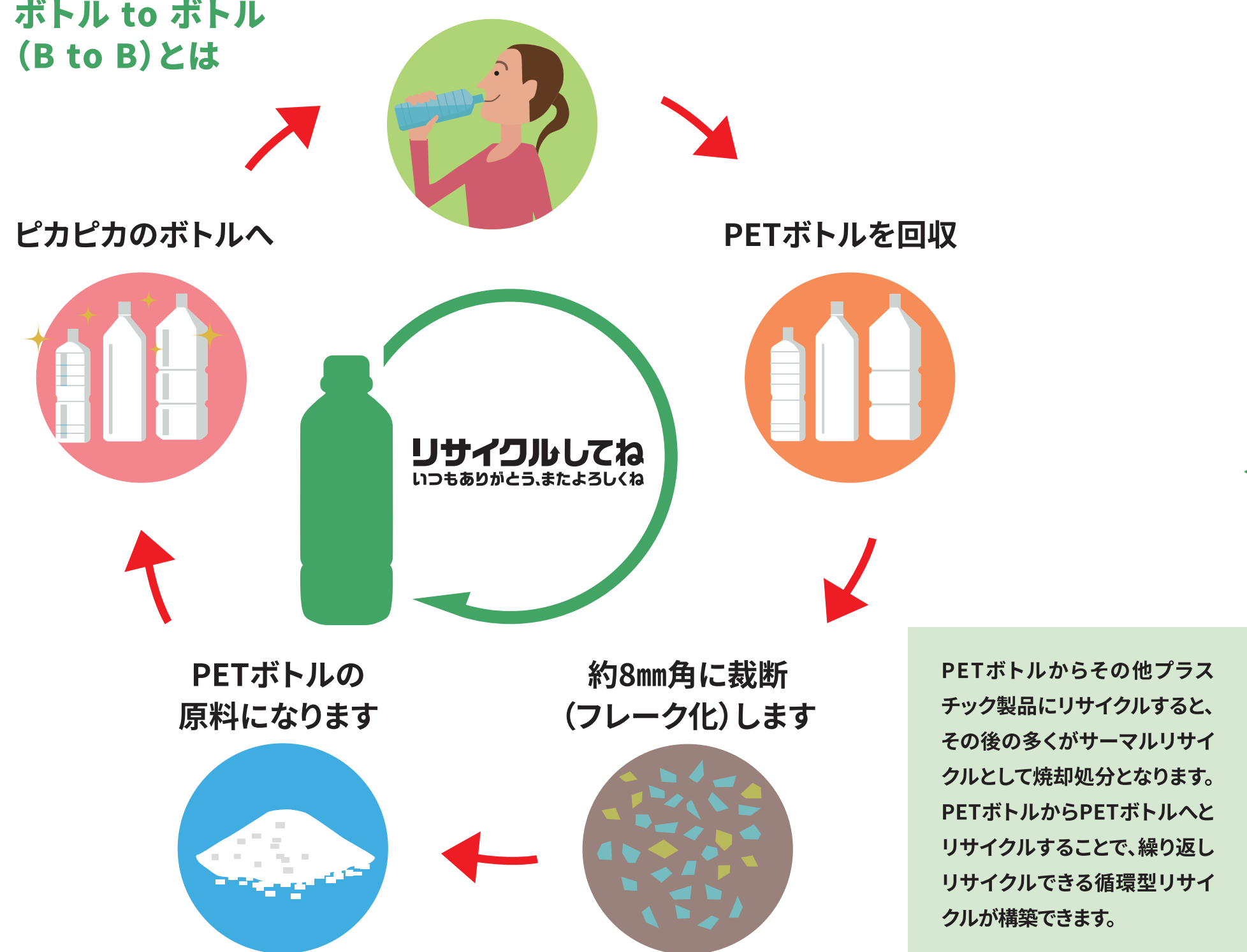
## 日本のPETボトルリサイクルの現状



## 高い水準を誇る日本の PETボトルリサイクル

日本のPETボトルは、高い回収率に加え、2021年で販売量に対して、86%をリサイクルしており、欧米と比較しても、最高のリサイクル率を誇っています。また、その他のプラスチックのリサイクルと異なり、再資源化され、製品として使用される「マテリアルリサイクル」であることが特長です。

## ボトル to ボトル (B to B)とは



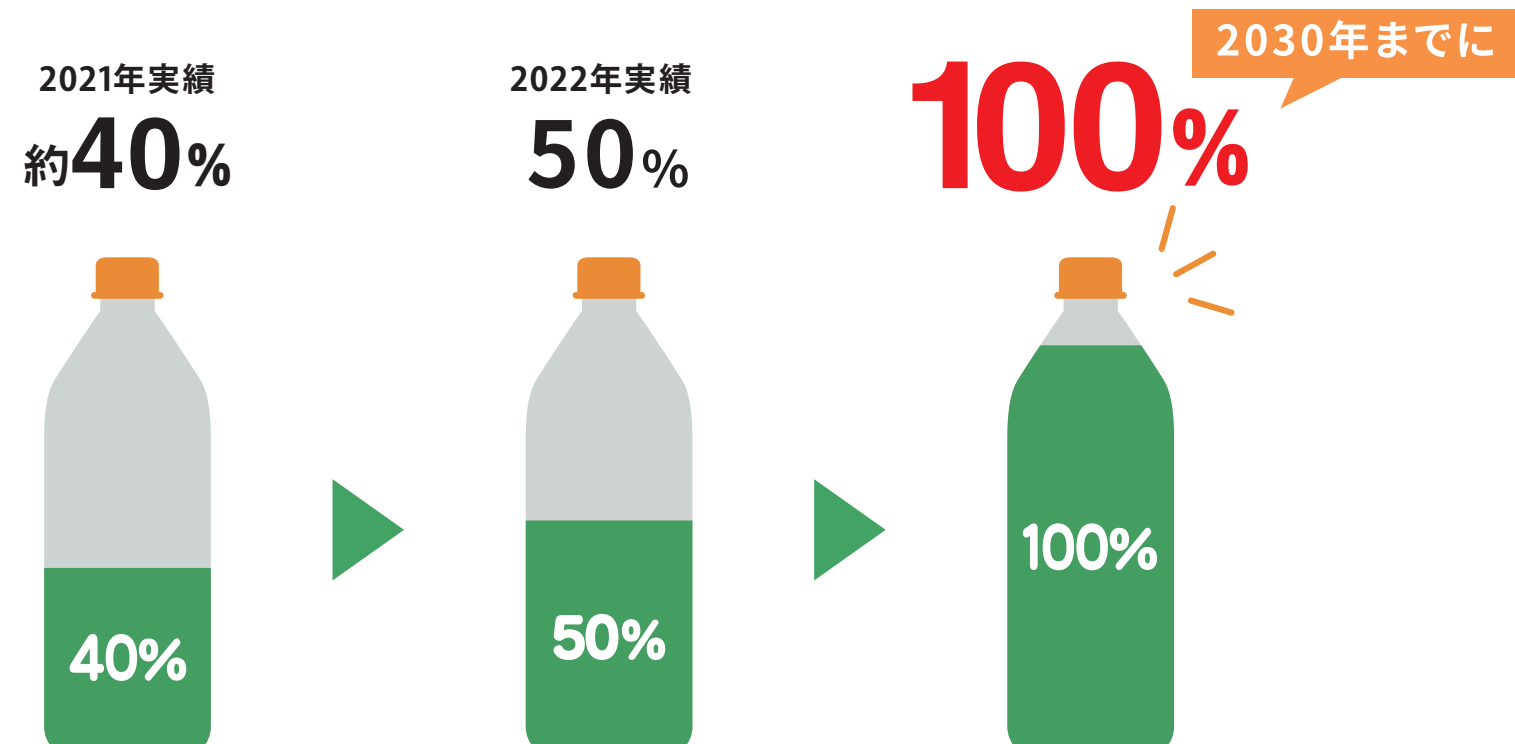
## 循環型リサイクルの “ボトル to ボトル”

回収したPETボトルを新しいPETボトルとしてリサイクルする”ボトル to ボトル”は、環境負荷の少ないリサイクル方法です。リサイクルされたPETボトルも、また回収後にPETボトルに再生することで、何度も繰り返し、リサイクルできる循環型リサイクルが構築できます。

## 2030年までに 全ての容器を サステナブル素材へ 切り替え



## 「容器の2030年ビジョン」 すべてのPETボトルを100%サステナブル素材に切替える



## 「廃棄物ゼロ」を目指して “ボトル to ボトル”を推進

ここまでご紹介してきたように、PETボトルは利便性・衛生面・環境負荷の全てで極めて優れた容器で、ボトル to ボトルで、循環型リサイクルを実現することができます。コカ・コーラシステムでは、2030年までにすべてのPETボトルをリサイクルPET樹脂または植物性PET樹脂に切り替え、新規化石燃料使用ゼロを目指しています。

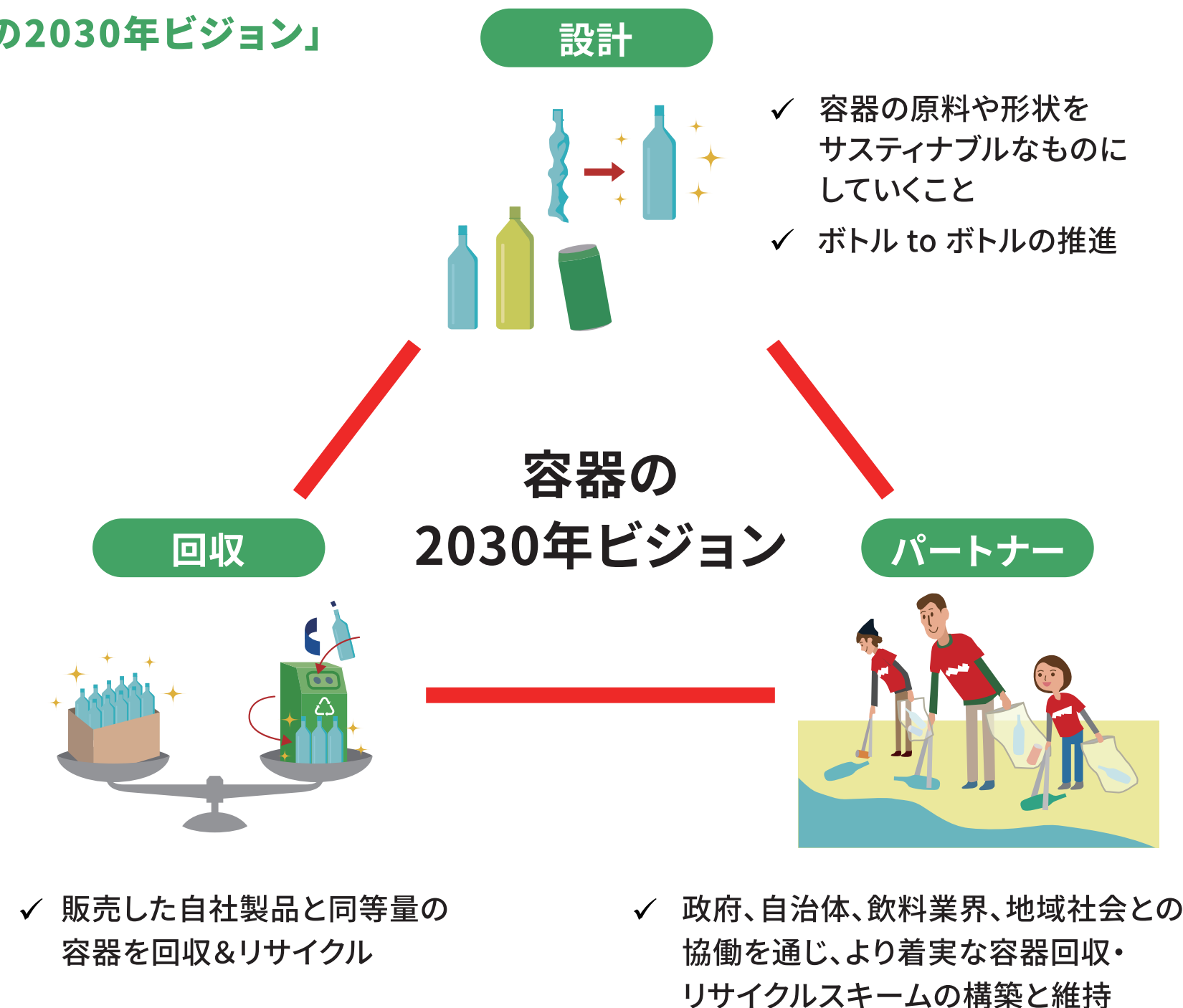




World  
Without  
Waste  
(廃棄物ゼロ社会)

# 廃棄物ゼロ社会の 実現に向けて

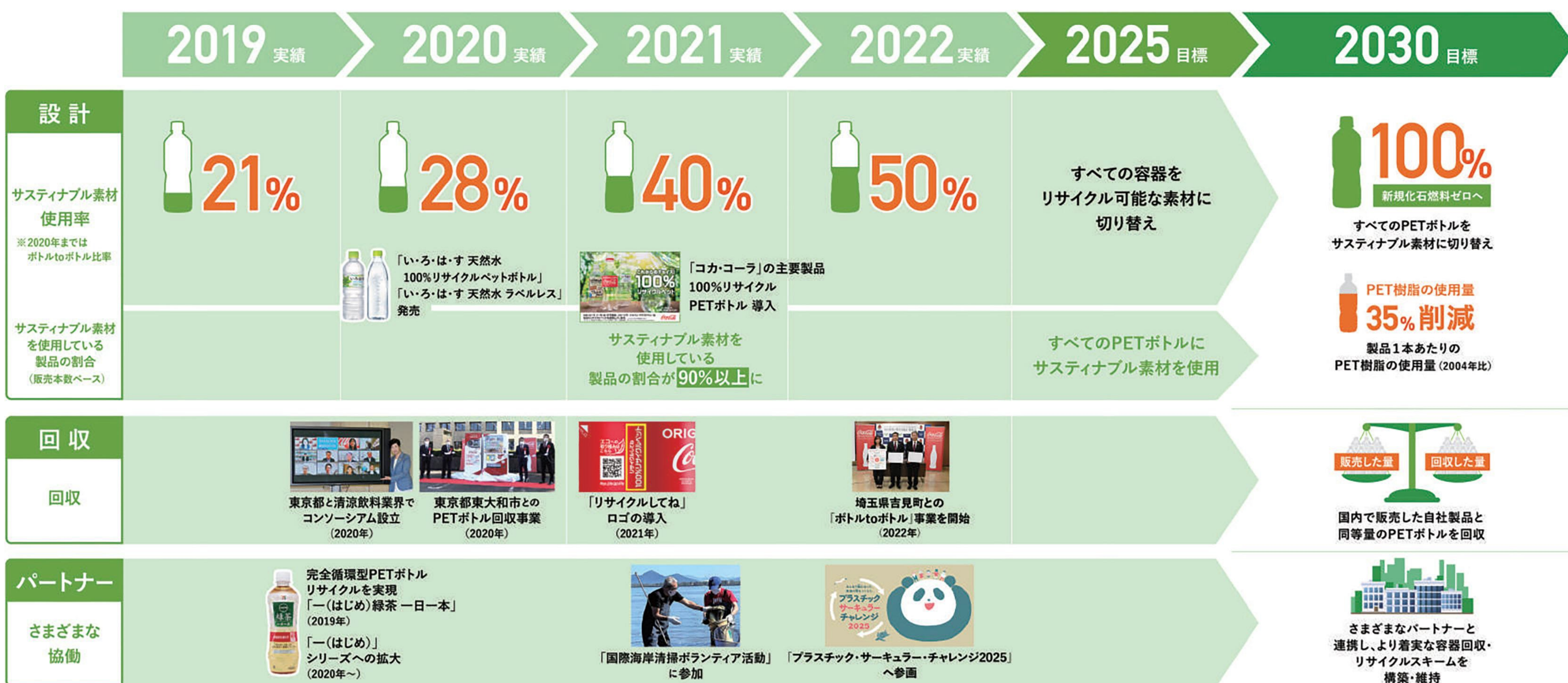
## 「容器の2030年ビジョン」



## 日本のコカ・コーラシステムが 目指す環境目標 「容器の2030年ビジョン」

日本のコカ・コーラシステムでは、グローバルビジョン「World Without Waste」(廃棄物ゼロ社会)に基づき、2018年1月、「設計」「回収」「パートナー」の3本の柱から成る「容器の2030年ビジョン」を設定。2019年7月12日には、従来の目標達成の前倒しを含む、新たな環境目標を発表しました。これはグローバル目標よりもさらに高い水準の日本のコカ・コーラシステム独自の目標です。

## 「日本のコカ・コーラシステム「容器の2030年ビジョン(ロードマップ・実績)」2023年6月更新



これからは  
100%  
リサイクル  
ペットへ!

100%が世界を変える!



100%リサイクルPETボトル  
(BtoB)に切り替わることで  
新しいエコの価値を伝達します。

### PET樹脂の素材組成物を変更



### リサイクルペットができるまで(メカニカルリサイクル)

